

南阿蘇村決算報告

平成27年度

〈問い合わせ〉役場 総務課 財務係 TEL(67) 1111

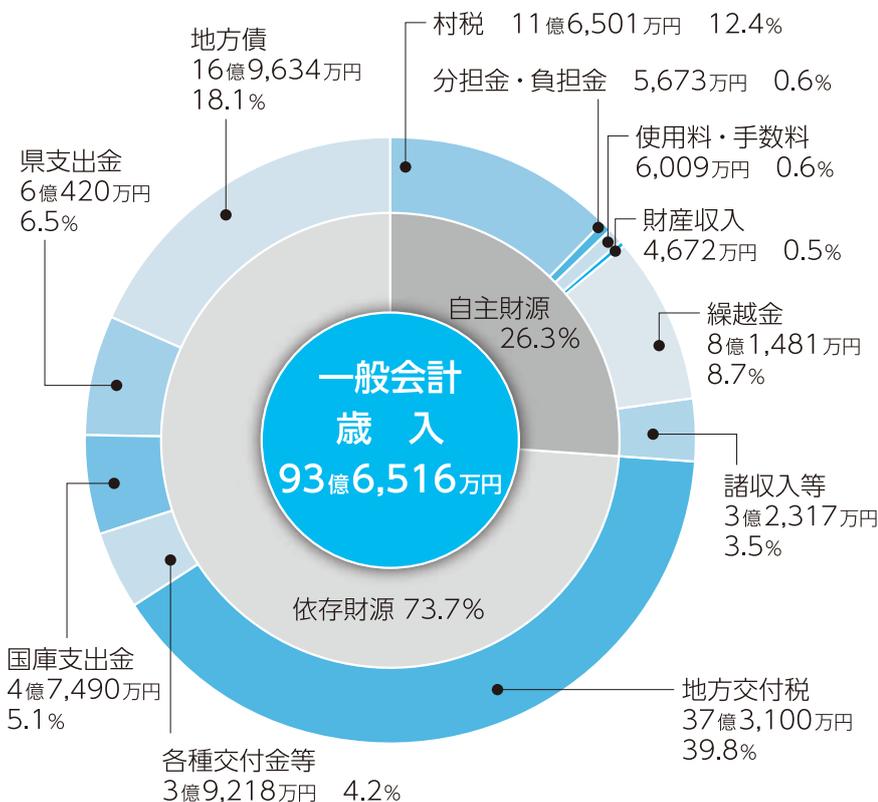
平成27年度の一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。村が行っている様々な事業は村民のみなさんが納めている税金や、国・県からの補助金、地方交付税などでまかなわれています。これらのお金が「村づくり」にどのように使われたか一般会計を中心にあらましをお知らせします。

平成27年度の一般会計の決算額は、歳入が93億6,516万円、歳出が83億2,567万円で、歳入から歳出を差し引いた収支額は10億6,260万円となりました。このうち3億5,809万円は平成28年度に繰り越して行う事業に充てるため、実際には7億4,511万円の黒字決算となりました。また、村の貯金である基金については、新庁舎建設事業に充てるため、公共施設等整備基金を2億円を取り崩したことから32億8,172万円となり、村の借金である起債残高は99億6,067万円(前年度比9億2,802万円増)となりました。

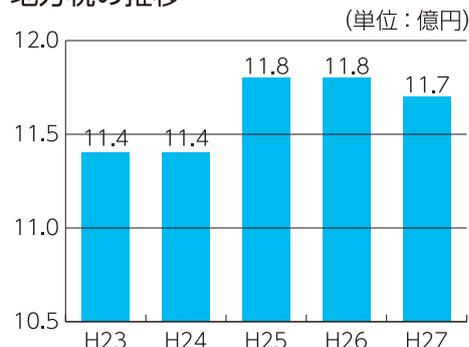
■歳入 93億6,516万円

(前年度比 5.2%増)

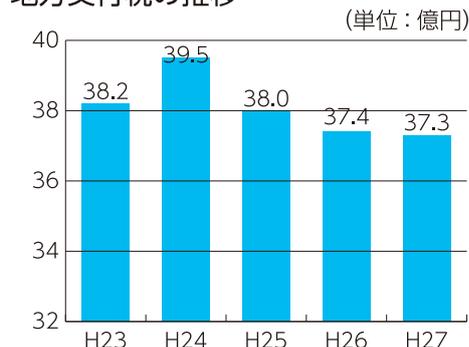
歳入は、村税や使用料など村独自で確保する「自主財源」と、地方交付税や国県支出金など国や県の基準により交付される「依存財源」に分けられます。



地方税の推移



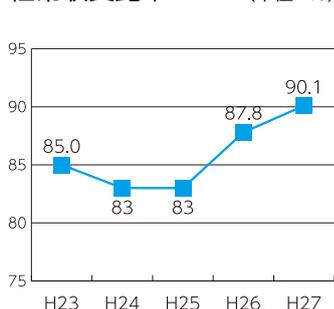
地方交付税の推移



村の財政指標(普通会計分)

市町村の財政状況が良いか悪いか判断するのは一般的には難しいものです。そこで、他の市町村と比較したり国が定めた基準に對してどの程度なら健全な状態かを判断するための指標がいくつかあります。今回はその中から3つの財政指標について過去5年間の推移をお知らせいたします。

経常収支比率 (単位: %)



財政構造の弾力性を測るための比率で、人件費、扶助費、公債費などの経常的経費に、経常的な一般財源がどの程度使われているかを示す指標です。この数値が100%を超えると、経常的な一般財源だけでは経常的な事業を実施できない状態となっており、財政の硬直化が進んでいると判断されます。

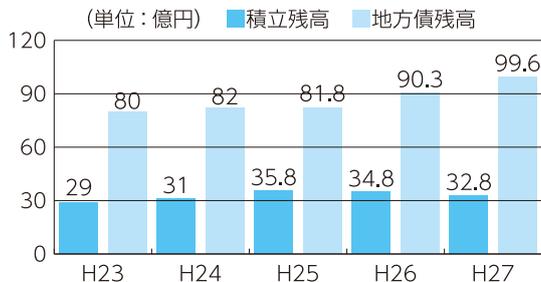
地方自治体の自律性を高めるためには、「自主財源」の確保が重要となりますが、本村の「自主財源」の割合は全体の26.3%で前年度から2億6,574万円の増となっています。主な増額の要因は、公共施設等整備基金を2億円取り崩したことによる繰入金2億3,333万円(前年度比1億1,388万円増)、ふるさと寄付金などの寄付金3,900万円(前年度比3,475万円増)などです。

一方「依存財源」は全体の73.7%で、地方交付税37億3,100万円(前年度比8,699万円減)、地域創生加速化交付金や社会保障・税番号制度国库補助金などの国庫支出金4億7,490万円(前年度比1億5,300万円減)、地方債16億9,634万円(前年度比1億6,898万円増)などとなりました。

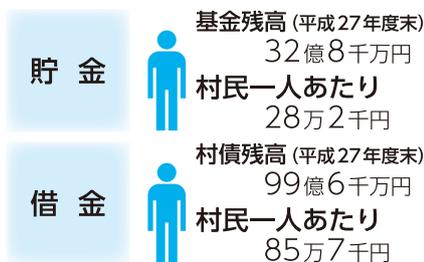
■歳出 83億256万円 (前年度比 2.6%増)

歳出を項目別に比較すると、総務費が県知事・県議会議員選挙や新庁舎建設等に伴う支出の増加により、19億2,799万円(前年度比4億5,585万円増)で全体の23.2%を占めて最も多く、次いで民生費が国民健康保険や介護保険特別会計に対する繰入金、児童手当などの扶助費などで17億9,751万円(前年度比5億6,021万円減※前年度保育所建設完了等によるもの)、次いで教育費が南阿蘇中学校の建設費等で10億6,385万円(前年度比5億3,349万円増)となっています。歳出総額を平成28年3月31日現在の人口11,619人で割ると、村民1人あたり71万円が使われた計算になります。平成27年度の主な事業内容については、次のページをご覧ください。

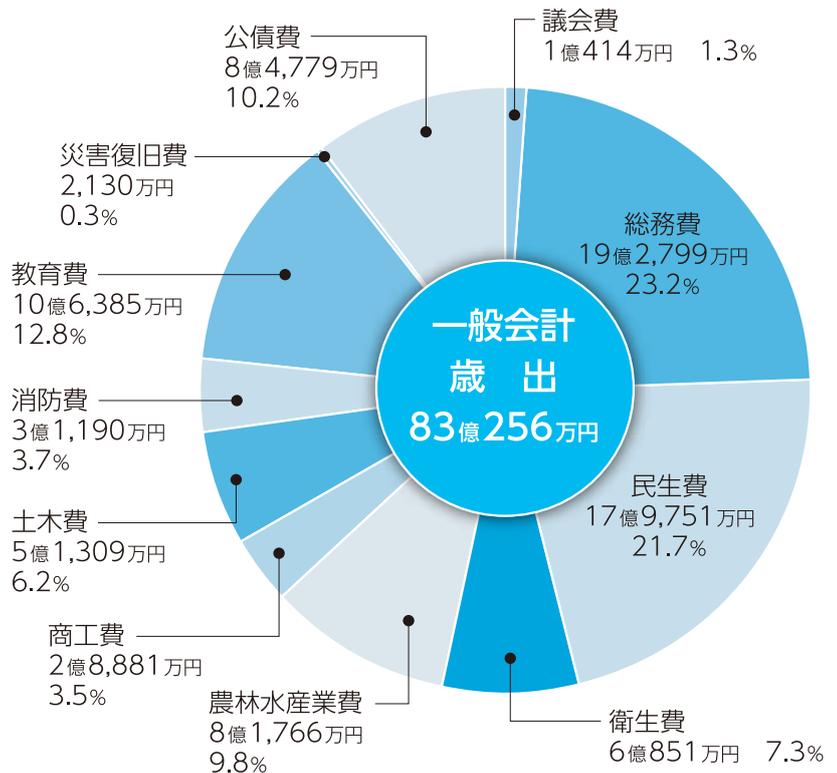
積立金及び地方債残高の推移(普通会計分)



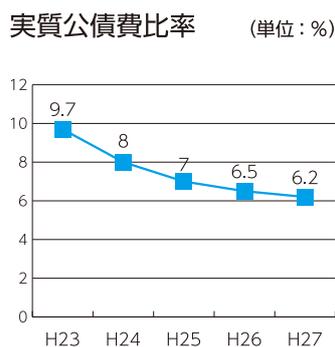
村の貯金と借金(一般会計)



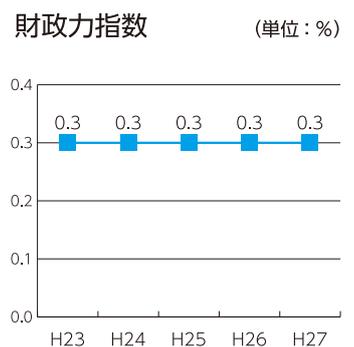
*但し、市町村が発行した地方債に対しては、その種類によって国から元利償還金の一部を後年度に普通交付税として交付されます。
*一人あたりに換算する人口は成28年3月末人口(11,619人)を基準にしています。



一般会計などで負担する借金の返済額などを指標化した比率です。この値が18%を超えると起債を発行する際に国の許可が必要となり、25%を超えると一般事業等の借入れが制限されます。



地方公共団体の財政力を示す指数で、数値が1に近いほど財源に余裕があることを示します。指数が1を超えると財政的に自立した団体となります。普通交付税が交付されなくなります。



平成27年度に実施した主な事業

総務費		商工費	
新庁舎本体工事	4億2,617万円	南阿蘇ふれあい商品券	2,000万円
光ブロードバンド基盤整備事業補助金	1億8,800万円	風評被害宿泊費補助事業	1,000万円
新庁舎造成工事	7,454万円	地域づくり夢チャレンジ推進事業補助金	821万円
地方バス運行費補助	3,207万円	南阿蘇村買い物支援サービス助成金	300万円
社会保障・税番号制度に伴うシステム改修	3,104万円	立野駅周辺整備基本設計委託料	275万円
阿蘇広域一般管理費負担金	2,242万円	観光サイン等改修設置委託料	196万円
民生費		土木費	
自立支援給付費(介護給付費等)	2億4,594万円	河川維持補修工事	3,980万円
介護保険特別会計繰出金	1億7,564万円	村道維持補修工事	3,869万円
臨時福祉給付金	1,706万円	橋梁長寿命化詳細設計委託料	2,518万円
阿蘇広域行政事務組合負担金(湯の里荘負担金)	1,330万円	社会資本整備総合交付金事業	2,501万円
外出支援サービスシステム導入委託費	834万円	村道除草業務委託料	1,688万円
敬老事業費補助金	597万円	消防費	
バス停留場キャノピー設置工事費	567万円	阿蘇広域行政事務組合消防費負担金	2億2,068万円
臨時特例給付金	390万円	防火水槽設置工事	1,522万円
すこやか成長祝金	340万円	ポンプ付積載車購入	1,335万円
衛生費		防災無線保守点検整備委託	458万円
清掃施設運営費負担金	1億7,612万円	教育費	
衛生処理費負担金	8,281万円	統合中学校整備費	4億3,799万円
子ども医療扶助	1,320万円	スクールバス購入	5,886万円
乳幼児医療費扶助	1,282万円	調理運搬業務委託料	4,443万円
インフルエンザ予防接種委託料	1,044万円	閉校記念事業補助金	1,145万円
肺がん検診	336万円	デジタル教科書購入	680万円
太陽光発電システム設置費補助	256万円	災害復旧費	
農林水産業費		公共土木施設災害復旧工事費	1,073万円
中山間地域直接支払交付金	1億9,293万円	農地災害復旧工事	83万円
多面的機能支払事業負担金	1億895万円		
広域農業開発事業償還金	3,956万円		
両併西部地区経営体育成基盤整備負担金	2,410万円		
サル・シカ・イノシシ・カラス捕獲	1,635万円		

特別会計及び公営企業会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合に特定の収入をもって支出にあて、一般会計とは別に収支経理を行うことです。南阿蘇村には、7つの特別会計と1つの公営企業会計があります。

特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	21億5,150万円	20億9,603万円
簡易水道特別会計	1億4,826万円	1億1,986万円
農業集落排水特別会計	5,050万円	4,920万円
生活排水処理事業特別会計	9,794万円	8,929万円
介護保険特別会計	13億5,171万円	12億9,174万円
住宅新築資金等貸付金特別会計	264万円	259万円
後期高齢者医療特別会計	1億3,817万円	1億2,897万円
上水道事業会計	3,369万円	2,711万円

平成27年度の財政健全化比率・資金不足比率をお知らせします

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」が制定され健全化判断比率として「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」「資金不足比率」を算定し、公表することになりました。平成27年度の各比率は、「早期健全化基準」と比較すると基準を下回っており、南阿蘇村の財政状況が健全なことが分かります。

①実質赤字比率	一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す比率です。
②連結実質赤字比率	すべての会計を合算し、全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示す比率です。
③実質公債費比率	一般会計などで負担する借金の返済額などを指標化した比率です。この数値が25%を超えると村単独の事業に起債を発行することができなくなります。
④将来負担比率	一般会計などの借金の返済額など現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。
⑤資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の比率で、経営状況の悪化の度合いを示す指標ともいえます。

年度	項目	①実質赤字比率	②連結実質赤字比率	実質公債費比率	④将来負担比率	⑤資金不足比率
平成27年度		— (14.92)	— (19.92)	6.2 (25.0)	11.7 (350.0)	—
平成26年度 (参考)		— (14.93)	— (19.93)	6.5 (25.0)	9.3 (350.0)	—

* ()内は早期健全化基準です。①、②、⑤は黒字のため“—”を表示しています。